

## 新シリーズ 病気1 =外耳炎=

### <外耳炎とは？>

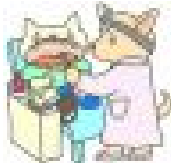
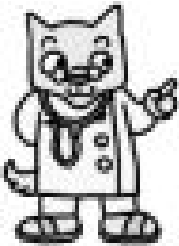
耳の病気で耳介および外耳道に炎症がおきるものを外耳炎といいます。外耳炎の症状は原因によって様々ですが、主な症状としては、耳が赤くなる、痒がる、こすりつける、耳から異臭がするなどがあります。ひどくなると、首を振る、首を傾げる、耳を触ると嫌がる、耳から汁が出るなどの症状に変化していきます。

### <原因>

外耳炎になる原因は数多くあり、いくつかの原因が複合している事もあるので、原因の特定は困難です。主な原因としては耳道内へのシャンプーや汚水の流入および残留、異物、耳ダニなどの外部寄生虫、細菌や真菌の二次感染などです。アレルギー体質であったり耳道内に毛が生えていたり、耳が垂れているコは発生率が高くなります。

### <治療>

外耳炎を起こしてしまった場合は治療が必要です。耳の炎症の状態に合わせて、注射、内服薬、外用薬を組み合わせる治療していきます。症状が軽い場合は1回の処置から2～3回の通院程度で治療できますが、ひどい場合は数週間以上の通院が必要になることもあるので、早期に治療する事をおすすめします。外耳炎をそのまま放置しておく、場合によっては耳の穴がふさがってしまったり、耳介の中に血液が貯まる耳血腫になってしまい手術が必要になることもあります。早期発見・早期治療のためにも飼い主さん自身が耳をよく観察できるようにしておいて下さい。



## 新シリーズ 歯科1 らくらく歯磨き法

口腔内衛生管理の基本は歯磨きです。そこで、飼い主さんが最も簡単に、そしてワンちゃんネコちゃんが最も嫌がらずにできる歯磨き実践法を紹介します。幼いうちから習慣づけることが重要ですが、高齢のコでも遅すぎることはありません!!

### 1. 最初は口の周りを手や指で触ることから始めましょう。

よく褒めてあげたり、ごほうびをあげながらできるだけ楽しく行ってください。最初は短時間で切り上げ、徐々に時間を長くしていきます。もし少しでも嫌がり始めたら、絶対に嫌がらない事をして止め、また時間を置いてから試してみましょう。トレーニングを終える時に、嫌なイメージが残らないようにすることがポイントです。



### 2. 歯磨き粉(ペースト)を使ってみましょう。

動物用歯磨き粉が市販されています。動物用の歯磨き粉は歯をきれいにするというより、むしろ歯磨きが楽しくできるように動物の好みの味がついています。最初は歯磨き粉の味に慣れさせることから始めます。まず、指に歯磨き粉を塗り、指で歯をやさしくこすりながらゆっくりと犬歯から口全体に広げていきます。この時、常に褒めてあげることも忘れないようにしましょう。ここまですぐにできなくても、諦めずに続ければ必ずできるようになります

### 注意

ヒト用の歯磨き粉を犬や猫に使ってはいけません。ヒト用の歯磨き粉にはフッ素や発泡剤が含まれており、犬猫の胃には刺激性があります。

### 3. 歯ブラシを使ってみましょう。

犬用、猫用の歯ブラシが市販されていますが、小児用の歯ブラシも代用できます。水で湿らした歯ブラシに動物用歯磨き粉をのせ、歯磨き粉を指でしっかりとブラシに押しつけて準備します。ブラシを嫌がらなくなるまでは犬歯をやさしく上下にブラシするだけにします。慣れてきたら円を描くようにやさしくブラシを動かしながら奥歯(臼歯)まで磨いていきます。さらに慣れてきたら前歯(切歯)も磨いてあげましょう。



歯ブラシを嫌がる場合、指にガーゼを巻き、円を描くように磨いてあげるだけで口腔疾患の予防になります。

# わんこ・にゃんこ日記

今回は、病院に来た事のある、わんこ・にゃんこに「診察台」について話し合ってもらいました。



「ぼくは…嫌いだな。高いの苦手なんだもん。」



「わたしは、高いところは平気だけど、あの上はちょっとねえ。大勢でわたしを取り囲むんだもん。怖いわ。」



「それに、あれに乗ると必ず痛い事とかされない？いい事無いんだもん。もう絶対乗りたくない！」



「そうでもないわよ。私は何もされない時の方が多いわよ。“ピツ”て音がなって、すぐに降りしてもらえるわよ。」



「僕は美味しいものを食べただけだったよ。」



「私なんか怖さのあまり固まっちゃうんだけど、じっと我慢してたら、ママたち褒めてくれるから、嬉しかったりもするかな。…けど、やっぱり好きになれないわ」

みんないろんな意見をありがとう。私もこの間、電球交換のために診察台に乗ったら、結構高いし揺れるしですごく怖い思いをしました。だから、みんなの気持ちはよくわかります。みんなの意見と自分の経験を生かして、みんながちょっとでも怖い思いをしないよう頑張ります！だから、ちょっとだけ我慢してね。

暑い暑い夏も徐々に終わり、秋そして冬へと向かいます。夏向きにさっぱりとカットしたヘアスタイルを、冬向きにふわふわっと伸ばそうかと思っている飼主さんも多い事でしょう。今まで、同じように思われて伸ばしてみたものの、お正月にはツルツルの丸刈り！になってしまったワンちゃん達をたくさん見てきました。それはなぜかって？それは、そう、『毛玉』がたくさん出来てしまったから……。夏とは違い、毛量が増え、熱を逃がさないためにふわふわの毛が多くなります。その上、空気の乾燥から静電気が起きて毛がもつれやすくなるんです。それまで簡単だったブラッシングが嘘のように大変になります。冬向きふわふわヘアスタイルにするためには、ものすごい努力が必要なんです。そこで、今回は毛玉を作らないブラッシング方法を紹介します。プロのトリマーさんはたくさんの道具を上手に使い分ける事が出来ますが、一般の飼主さんではたいへん。それだけの道具を準備するだけで「フウ～」とため息が出ちゃいます。そこで準備するものは4つにします。

ストレートのサラツとした毛質の犬は ピンブラシ コーム ブラッシングスプレー ご褒美用のおやつ  
ウェーブのかかった毛の犬、皮膚が見えないほど毛量の多い犬、それから猫は

スリッカーブラシ コーム ブラッシングスプレー ご褒美用のおやつ

まず全身にブラッシングスプレーをかけます。これは静電気防止。

次に一番もつれやすい わきの下 内股 耳や耳の周り 洋服を着ている子は首周りや胸のあたりから始めます。(長時間のブラッシングに耐えられない子が多いので毛玉が出来やすい部分、出来てしまったら取り難い部分から始めます)

毛を掻き分け、皮膚が見える状態にして毛の根元から少しずつといていきます。はじめはピンブラシまたはスリッカーブラシを使います。毛が絡まった状態でコームを入れると引っかかり痛いので嫌がります。

仕上げにコームで同じようにときます。

まだまだ耐えられそうなワンちゃんネコちゃんは残りの部分も同じようにしてといていきます。

\*顔は目に気をつけて小さめのコームでするほうが安全でしょう。

\*ブラッシングを大好きにするためにご褒美用のおやつを時々与えながら行うといいですよ。

ブラッシングは1日1～2回行うようにすると、ふわふわのヘアスタイルが維持できるでしょう。